

美しい 県土づくりNEWS



2007 年

12 月

岩手県県土整備部

手づくり広報誌 41 号

平成 19 年 12 月 5 日発行

編集 県土整備企画室

目次

- 2 「除雪」事業について
- 4 津付道路の起工式が開催されました
- 6 「汚水処理連携セミナー」を開催しました
- 8 ユニバーサルデザインまちあるき
- 9 早池峰ダムウォッチング2007を開催しました
- 10 『県営仙北アパート2号棟完成!』
- 12 北上川上流流域下水道事業「玉山幹線工事の進捗状況」
- 16 県庁前（内丸地区）の落葉清掃が行われました
- 17 元気な地域づくりフォーラムのご案内

岩手の風景

昨年の冬は雪も寒さもなく、地球温暖化を肌で感じましたが、気象庁の予報によると今年の冬は平年並みとのことです。

県土整備部では除雪の準備も完了し、県内の除雪ステーションでは出動式が行われました。



（11月1日に行われた、湯沢除雪ステーションでの除雪出動式の様子）



「除雪」事業について

～道路環境課～

県では、冬季における県民の日常生活や物流等の産業・経済活動に支障を及ぼさないよう、適切な除排雪や路面の凍結防止対策に努めています。本格的な雪の季節を迎える前に、除雪事業についてお知らせとお願いです。

県管理道路 257 路線、延長 4194.3km のうち、積雪が多く雪崩が発生する等、通行に危険な冬季閉鎖区間を除いた 3,808.9km(全体延長 91%)を除雪しています。

【除雪出動基準】

○ 車道除雪

高速道路/IC、空港、医療施設その他の重要公共施設等への連絡道路を優先して除雪を実施します。初期除雪については、降雪量 5cm で引き続き降雪が予想される場合、あるいは降雪量 10cm 以上、または吹きだまりの生ずる恐れのある場合です。

○ 融雪剤散布

橋、交差点、急カーブ区間、トンネルの出入口等を中心に道路へ融雪剤を散布します。

○ 歩道除雪

通勤、通学路を優先して除雪を実施します。確保すべき路面状態は、防寒靴等で歩行可能とし、除雪幅は 1m 以上を標準とします。



【除雪の工夫】

○ 市町村との連携除雪

県と市町村といった従来の縦割りの行政サービスを改善する第一歩として、除雪作業の連携を進めていきます。主な連携方法としては、

1. 路線の相互交換

県が除雪したほうが効率的な市町村道、市町村が除雪したほうが効率的な県道を相互に交換します。

2. 委託先の同一化

隣接する県道と市町村道を同じ委託業者をお願いします。

3. 市町村へ除雪機械の貸出

県の除雪に支障のない範囲で、所有する除雪機械を市町村へ貸し出します。

メリット

限られた除雪機械を効率的に稼働させることができるので除雪の作業効率が上がります。効率的効果的な除雪が期待されます。

○ 住民協働による歩道除雪

H17 から実施している住民協働による歩道除雪を引き続き実施します。H19 は、6 市町村へ 8 台の小型除雪機を貸し出し、歩道除雪への協力をお願いしています。



※HPにて県内の道路の路面状況、降雪・積雪情報等がご覧になれます。

◆「岩手県道路情報提供サービス」…………… <http://www.douro.com/>

【お問い合わせ】

道路環境課 TEL019-629-5878

除雪作業にご協力お願いいたします

県では、冬期間の安全で円滑な道路交通を確保するため、
県が管理している道路の除雪を行っています。
作業がスムーズに行えるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

■ 間口除雪にご協力を

各商店・各家庭から道路へ出る間口に寄せられた雪の除雪については各家庭、
ご近所等でご協力をお願いいたします。

■ 道路への雪だしはやめましょう

道路への雪だしは路面凍結の原因となるほか、路面が
でこぼこになり交通事故や渋滞の原因になりますので
非常に危険です。



■ 路上駐車はやめましょう

路上駐車は除雪作業の妨げになります。
また、車の乗入れ板や看板等も障害物となります。

■ 除雪車に注意してください

除雪作業は常に安全第一で行っていますが、
作業中の除雪車は大変危険です。
近づかないようお願いいたします。
除雪車は場合によってはセンターラインを
越えて作業することもありますので、
車等で走行中の際もご注意願います。



■ 深夜・早朝作業にご協力ください

除雪作業は朝の通勤・通学に間に合うよう、作業は主に交通量の少ない
早朝や夜間に行います。
作業中は騒音、振動などでご迷惑をおかけいたしますがご理解ください。

岩手県
道路情報提供サービス
ホームページへ



お問い合わせは
県庁 県土整備部 道路環境課
または
各地方振興局土木部まで

「津付道路の起工式が開催されました」

～大船渡地方振興局土木部 津付ダム建設事務所～

津付ダム建設事業は、昭和52年の予備調査開始から実に30年を経て、このたび、初めての工事に着手することとなりました。

このため、大船渡地方振興局では、今回の起工を祝すとともに、今後の工事の安全を祈願することを目的に、平成19年11月14日、津付ダム建設予定地内において地元関係者による起工式を開催しました。



鍬入れの様子

(右から大船渡市長(代理副市長)、大船渡振興局長、住田町長、陸前高田市長)



起工式の前に行われた神事の様子

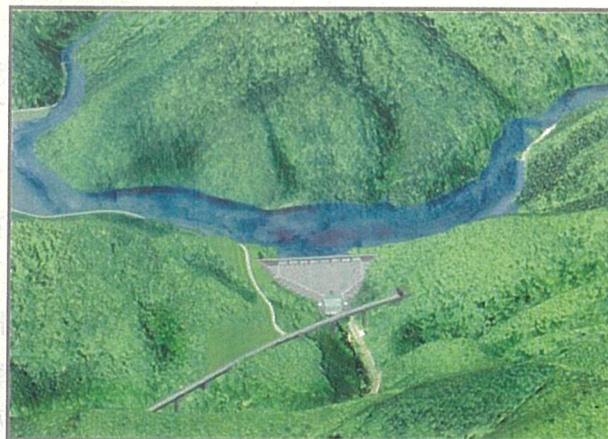
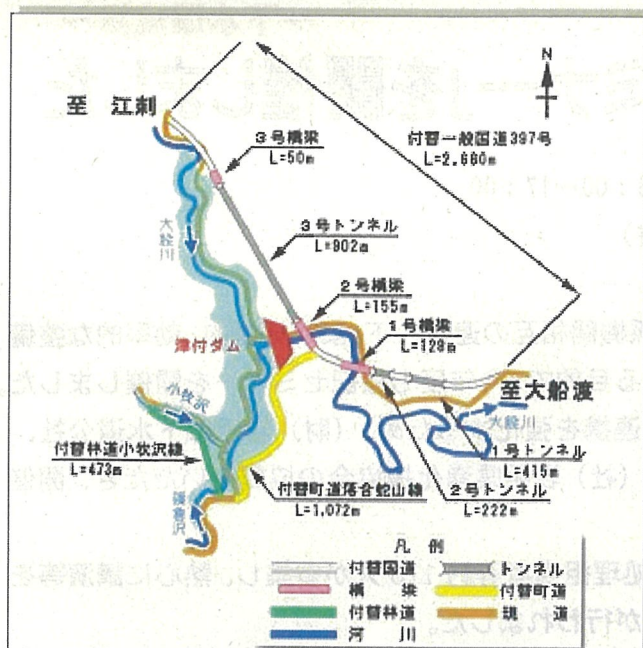


起工式での大船渡地方振興局長挨拶

【来賓】

津付ダム地権者会の皆様
大船渡市長
陸前高田市長
住田町長
住田町議会議長
住田町議会副議長

◆津付道路について



津付ダム完成時のフォトモンタージュ

(津付ダム建設事務所 HP

「<http://www.pref.iwate.jp/~hp4580/>」より)

岩手県では、気仙郡住田町世田米字子飼沢地内の二級河川気仙川水系大股川において、治水専用の『津付ダム』の建設を進めています。

津付ダムは、昭和52年度から予備調査に着手し、昭和56年度には実施計画調査の国庫補助採択を受け、平成12年度には国庫補助による建設事業に採択されています。

津付ダム建設に伴い、現在の国道397号を付け替える必要がありますが、当該国道は現道拡幅等の改良の必要もあることから、平成17年度から『津付道路』として道路改築事業（国庫補助事業）と併せて事業施行することとし、調査、設計等を行い、これまで着工準備を進めてきたものです。

【津付道路の概要】

施工延長	L=2.7km	(現況 約3.5km 約800m短縮)
道路規格	第3種3級	(現況 第3種4級)
標準幅員	W=9.50m	(現況 6.50m)
設計速度	V=60km/h	(現況 40km/h)

津付道路を含めた国道397号の整備により、大船渡市と水沢江刺駅が約60分で結ばれます。

「汚水処理連携セミナー」を開催しました

- 日時：平成 19 年 11 月 2 日（金）13：00～17：00
- 会場：エスポワールいわて（盛岡市）

汚水処理施設整備に関わる行政、関係機関相互の連携の下、より経済的・効率的な整備促進と維持管理に関する情報を共有する目的で、今年度も標記セミナーを開催しました。

当セミナーは、各種汚水処理施策の連携を強化するため、（財）岩手県下水道公社、岩手県土地改良事業団体連合会並びに（社）岩手県浄化槽協会の協賛をいただき、開催したものです。

当日は、県内市町村や振興局の汚水処理担当者等約 110 人が参集し、熱心に講演等を聴講するとともに、活発な意見交換等が行われました。

◆ 講演「下水道施設の適正な維持管理について」

日本下水道事業団技術開発研修本部研修センター 教授 ^{かとう}加藤 ^{そういち}壮一 氏

総人件費改革や公共サービス改革、公会計制度改革など最近の地方行財政をめぐる改革の流れを踏まえ、包括的民間委託や指定管理者制度、受益者負担金や使用料徴収等下水道の管理に関わる様々な課題への対処方策について、実際の事例を交えながら、解説をいただきました。



講演する加藤教授

◆ 先進地事例発表「紫波町管理型浄化槽整備事業（PFI）経過報告」

紫波町建設部下水道課長 ^{くどう} 工藤 ^{たくみ} 巧 氏

紫波PFI浄化槽整備株式会社 代表取締役 ^{とみおか} 富岡 ^{やすひろ} 靖博 氏

全町的な汚水処理の普及を目指し、PFI（民間主導による公共事業）手法による浄化槽整備事業に全国で4番目、県内では最初に取り組んだ紫波町の事例について、行政側及び民間側それぞれの視点から、その経緯や意義、課題等、貴重な話題が紹介されました。



先進地事例を発表する工藤氏

◆ 意見交換会

【テーマ1】下水道施設の適正な維持管理について（アドバイザー：加藤教授）

下水道台帳の整備、下水処理場の適切な管理体制、下水道使用料金の徴収等について、参加市町村における事例の紹介や全国の事例紹介等を含め、活発な意見交換が行われました。

【テーマ2】浄化槽PFIについて（アドバイザー：工藤氏、富岡氏）

浄化槽の普及促進に向けた最近の取組事例が紹介され、PFI導入に向けた課題や手順等について、活発な意見交換が行われました。



意見交換会【テーマ1】



意見交換会【テーマ2】

「ユニバーサルデザインまちあるき」

～宮古地方振興局土木部～

平成19年11月30日（金）宮古小学校の4年生により、総合学習の一環として、「ユニバーサルデザインまちあるき」が行われました。

これは、障害を持った方々と接して理解を深めるとともに、一緒に街や建物を点検し、みんなが住みやすい街を作るにはどうしたらよいか考えるきっかけ作りを目的として行われたものです。

スタッフとして宮古地方振興局（保健環境福祉部、土木部）、市役所、社会福祉協議会、が参加し一緒に体験をしました。

はじめに社会福祉協議会の方々と一緒に車椅子等の操作方法を再確認した後、5つの班に分かれ市内の各コースに出発しました。

まちの中では実際に車椅子やハンディキャップの体験をしたり、歩道の広さや段差、障害物の有無を調べ一生懸命メモを取りながら点検を行いました。

その後は学校に戻り、各班ごとに調べた結果を話し合い、大きくした地図に良い所や不便な所を書き入れ、体験した内容を発表しあいました。



社会福祉協議会の方々と一緒に再確認



ハンディキャップ体験



まちあるき体験発表の資料づくり



まちあるき体験発表の様子
（手話通訳をしていただく）

早池峰ダムウォッチング2007を開催しました

～県南広域振興局 花巻総合支局 土木部～

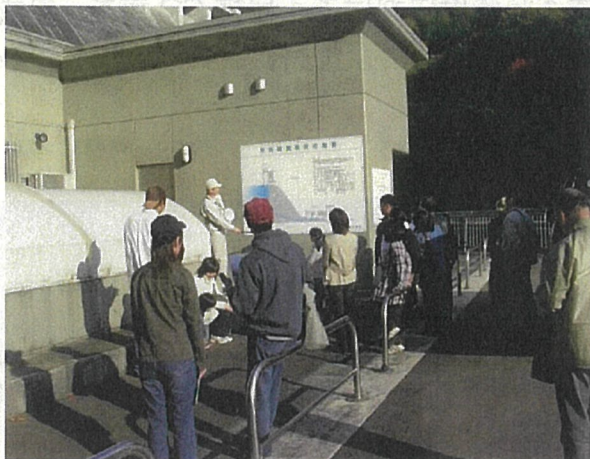
早池峰ダムでは、早池峰ダムウォッチングとしてダムの一般公開を毎年春と秋に実施しています。

秋晴れ、紅葉が最も盛んでダム湖面に映し出される景色の中で、10月28日（日）に秋のダムウォッチングが行われました。6年目となる今回は、親子連れから中高年の夫婦等、市内外から37名の参加がありました。

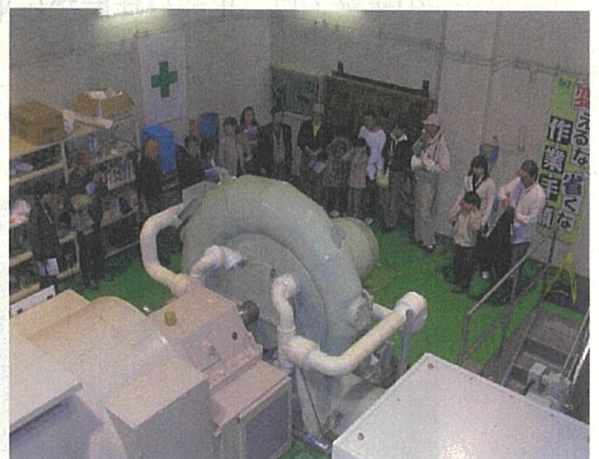
今年はカスリン・アイオン台風から60年にあたるため、当時の水害状況写真も展示するとともに、先日9月7日に本県に大雨をもたらした台風7号及び9月16から18日の台風11号の際は、当ダムも洪水調節の役割担い、下流への被害を最小に抑えたことなどをお話し、参加者の皆さんにダムの役割の一端を知っていただきました。

参加者は、普段入ることの出来ないダム堤体内部を見学し、早池峰発電所では花巻市大迫町内1890世帯に供給できる程の最大1,400kwhの発電を行っているとの説明に興味深く聞き入っていました。

見学の所要時間は約1時間で、見学コースはダム上端から70m下にある早池峰発電所までをダム内部の階段を使って徒歩で往復します。外気温は15℃でしたが、ダム内部は7℃とさらに肌寒く、階段は薄暗く急なので、けっこう怖いという声もちらほら聞こえた見学会となりました。



階段でダム内部へ、いざ出発！



ダム内部 早池峰発電所の見学

現場ニュース

『県営仙北アパート2号棟完成！』

～建築住宅課～



【所在地】
盛岡市仙北3丁目3
(JR 仙北駅から南へ約1 km)

【入居状況】
全戸入居中

※現在募集しているその他の県営住宅の情報については、県のHP内の建築住宅課「お知らせ」にて情報提供しています。

(岩手県 HP)
<http://www.pref.iwate.jp>

平成19年11月、県営仙北アパート2号棟が完成しました。

昭和30年代に建設した「県営仙北団地」の建替えを目的にスタートしたこの事業では、平成9年度から平成15年度にかけて1号棟63戸を、平成17年から今回完成した2号棟12戸を整備し、団地全体で75戸の住宅を供給しています。



南東側から撮影



南西側から撮影

◆県営仙北アパート2号棟概要

- ・ 鉄筋コンクリート造 4階建
- ・ 敷地面積 1,844.29㎡
- ・ 延床面積 1,114.22㎡
- ・ 建築面積 313.20㎡
- ・ 屋根 陸屋根(合成高分子ルーフィングシート防水)
- ・ 外壁 弾性リシン吹付(外断熱部：押出し形成セメント板)
- ・ 断熱 両妻側・北側一部の外壁：外断熱通気工法(グラスウール)
上記以外の外壁：現場発泡ウレタンフォーム
屋根：外断熱(ウレタンフォーム板)
- ・ 内装 床：フローリング 壁：EP 塗り 天井：化粧石膏ボード
- ・ サッシュ アルミ製単板ガラス+樹脂製複層ガラス
- ・ エレベーター 1基(定員9名、車いす用)
- ・ 給水 受水槽
- ・ 給湯 ガス給湯器(流し台、洗面台、浴室の3か所に給湯)
- ・ ガス 都市ガス
- ・ 屋外附帯 自転車置場、ゴミ収集庫
- ・ 消防設備 自動火災報知器

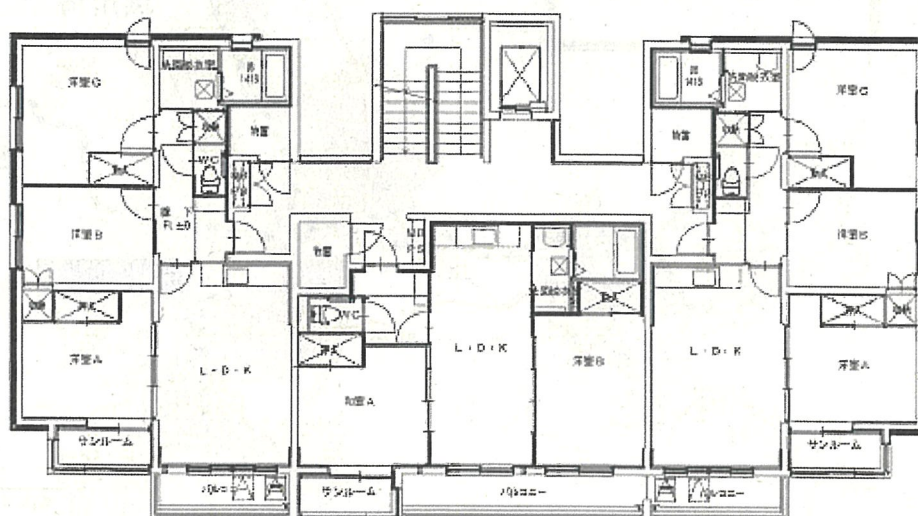
◆ 部屋のタイプ(南側から見て)

4F	403 号室 (3DK)	402 号室 (2LDK-B)	401 号室 (3DK)
3F	303 号室 (3DK)	302 号室 (2LDK-B)	301 号室 (3DK)
2F	203 号室 (3DK)	202 号室 (2LDK-B)	201 号室 (3DK)
1F	103 号室 (2LDK-A)	102 号室 (2LDK-B)	101 号室 (2LDK-A)

2LDK-A(66.10㎡) 2戸、 2LDK-B(66.10㎡) 4戸、 3DK(79.72㎡) 6戸

合計12戸

◆ 部屋の間取り (※参考：2～4階間取図)



北上川上流流域下水道事業「玉山幹線工事の進捗状況」

～北上川上流流域下水道事務所～

1 はじめに

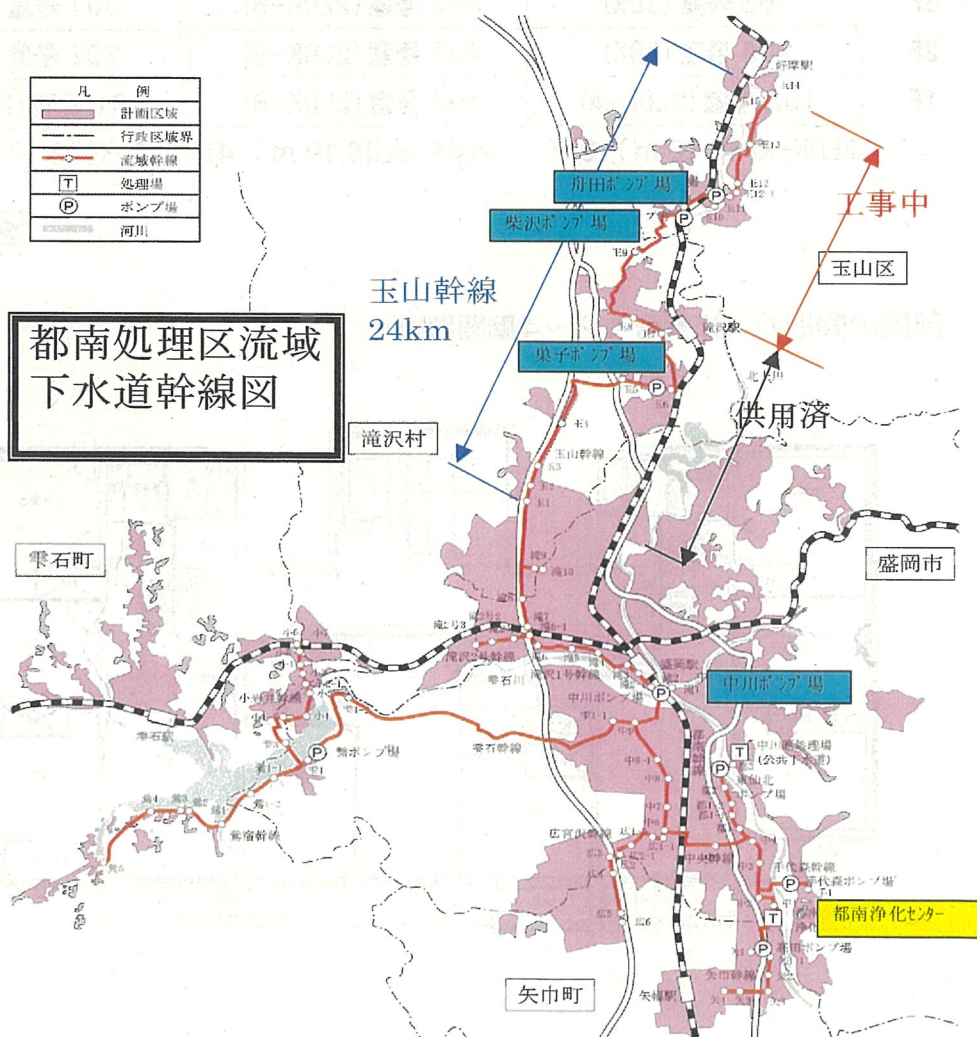
流域下水道は、市町村が整備する流域関連公共下水道から排除される下水を、市町村の行政区域を越えて、排除・処理する下水道の根幹的施設です。原則として、県が設置し、管理することになっています。

本県の流域下水道は、北上川流域内の10市町村を対象として「北上川上流流域下水道」と「磐井川流域下水道」の二つの流域下水道を計画し、それぞれ昭和49年度と昭和57年度から事業に着手しています。

今回紹介する北上川上流流域下水道事業の玉山幹線築造工事は、平成7年度から工事を始めて以来、全面供用開始に向け工事の大詰めを迎えています。

玉山幹線は都南処理区全体の管渠延長約80kmのうち約24km、30%を占める最も長い幹線管渠です。本県流域下水道において最長の管路延長となるものです。現在部分供用しているのは、滝沢駅付近から南のエリアまでです。残る整備区間は、これより北上して盛岡市玉山区の渋民、芋田、好摩地区までとなっています。

なお、玉山区の処理人口は約8,800人、発生する汚水量は約5,100m³/日となります。





2 管路の繋がりとしくみ

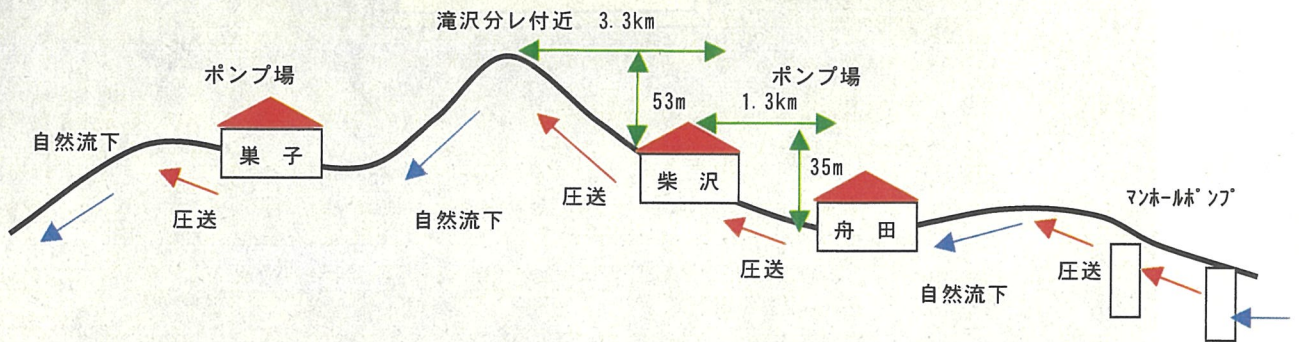
下水道管渠の大部分は自然流下方式ですが、一部ポンプによる圧送方式となります。流入量の少ない場合は、マンホール内に設置している小型ポンプ（以下、マンホールポンプと呼ぶ）で、流量が多ければ建屋を構えた汚水中継ポンプ場（以下、ポンプ場と呼ぶ）となります。

今回の工事区間の滝沢村から玉山区にかけては、ポンプ圧送方式となります。この区間の管路区間は4.6km、標高差は約88mもあることから、ポンプで一気に揚水することが出来ず、2段階に分けて揚水することとなります。1段目の舟田ポンプ場では、毎分最大3.5m³の汚水を35m揚水し、2段目の柴沢ポンプ場ではさらに53m揚水し、滝沢村分レ地区で自然流下となり、巣子ポンプ場まで流下することとなります。

幹線の上流端である好摩・芋田地区からの汚水は、公道下に埋設された管渠により舟田ポンプ場まで流れることになっていますが、この区間には2箇所のマンホールポンプを介して到達することになります。

これからの管路工事として残っているのは、好摩地区から芋田地区にかけての区間で、北上川の河川横断があります。現在、発注に向けて準備をすすめているところであり、この工区の完成をもって、玉山幹線の管路工事が全て完成となります。

玉山幹線圧送の模式図



3 工事状況

① 土木工事

最終工区の河川横断は推進工法により施工し、約 165m の管渠を敷設するものです。推進工法には泥濃式推進工法を採用することにより、長距離推進の施工が可能となるものです。

管路の圧送方式により発生する問題点としては、マンホール等の開放点で硫酸が生成されコンクリートの腐食が急激に進むことがあります。これらに対応するため耐食性の高い管材料を使用して対策しています。(ポリエチレン管、内面エポキシ樹脂粉体塗装ダクタイル鋳鉄管、セラミック混込推進管、重防食塗装等)

② 建築工事

舟田ポンプ場は地上 2 階地下 3 階で、地下部については地中連続壁による仮設工を行い、躯体コンクリートを立ち上げる方法を取っており完成間近となっています。舟田の地中連続壁掘削の際には 1 m を越える大きさの転石にも遭遇しましたが、岩石用の掘進機のおかげで順調に施工ができました。地中連続壁は壁体のたわみが少ないことや止水性が高いことで確実な工法と感じています。近接して現在稼働中の污水处理施設「舟田フレックスプラント」は、仮施設なので完成の暁には撤去となるものです。

柴沢ポンプ場は地上 1 階地下 2 階となり、地下部については舟田と同様に地中連続壁による仮設工を行い、躯体コンクリートを立ち上げる方法を取っており、こちらも完成間近となっています。杭基礎プレボーリングの際には、数 10cm 大の転石に当たり、孔壁が偏心して大分悩まされました。この付近は岩手山の火山弾の影響をうけているのか、「掘れば石に当たる」地層のようです。

どちらのポンプ場も地上部の建屋については、年末にかけて工事着手することとしています。汚水を扱う施設なので、鉄筋コンクリート造りとなります。建築工事は、建築本体（外壁、屋根、サッシ等）、建築電気（照明、コンセント等）、建築機械（エアコン、換気扇等）の大きく 3 工事が併せての発注となり、多くの下請けにより施工されるものです。その工事監理については、建築士の監督補助を受けながら、土木職の担当が業務をすることとなります。

舟田ポンプ場の施工状況



柴沢ポンプ場の施工状況



③ 機械工事

この管路区間は4.6km、高低差にして約88mにも及ぶことからポンプ施設にとっては、高い揚程のため厳しい任務を背負うこととなります。水頭圧が高いためポンプの停止時には水激圧（ウォーターハンマ）が発生するので、これを減少させるために大きな慣性力によりゆっくり停止するように、大型のフライホイールを備えたポンプを配置する予定にしています。ウォーターハンマの影響により、逆止弁体がガタツキ漏水の原因になることも多いです。一般的にポンプの運転は固定速になっていますが、可変速（VVVF）にすることによって起動・停止の回数を減らすことができるので、採用することとしています。なお、現地着手は平成20年度となります。

④ 電気工事

舟田・柴沢両ポンプ場の機械装置を円滑で確実に制御するため、相互連携に優れたシステムを構築するとともに、自家発電設備を設置することで停電時の送水機能を確保することとしています。

また、各ポンプ場は常時無人とし、約30km離れた都南浄化センターから遠隔監視制御することにより運転管理の省力化・効率化を図るとともに、今回の増設に併せ、中央幹線の中川ポンプ場を含めた統合的監視体制を構築し、施設の維持管理に万全を期すこととしています。なお、現地着手は平成20年度となります。

4 おわりに

これまでの幹線管渠の整備は、都市部を中心に進められてきましたが、近年はそれも整備済みとなり、郊外（中山間地域）に移行してきています。今回の玉山幹線が完成すれば、整備が一段落を迎えることとなり、残るのは、鶯宿幹線、手代森幹線、羽田幹線、都南・小岩井幹線の一部のみとなります。

供用開始に向けて2年ほどと迫っていますが、無事供用開始できることを目標に工事を推進していきます。

ボランティア活動

県庁前(内丸地区)の落葉清掃が行われました

内丸周辺の官公庁職員有志による県庁前の落ち葉清掃が、10月25日(木)から11月22日(木)までの月・木曜日に行われました。

毎年の恒例行事となっているこの活動は、朝の勤務開始前の時間を利用して、内丸地内の県管理道路(一般国道455号)内にある街路樹(トチノキ)の落葉清掃を行っているものです。

11月14日(水)には、昨年に続き、活動に賛同していただいた通所授産施設「ヒソプ工房」の通所生の皆さんにより、落葉清掃をしていただきました。

改めましてご協力に感謝申し上げます。

11月14日(水)
「ヒソプ工房」の皆さんによる
落葉清掃の様子

※当日は、TV局、新聞社の取材がありました。



きれいになった県庁前の歩道



道・川・まち

きっかけにした 元気な地域づくりフォーラム

地域の笑顔とやさしさを広げよう！

ご参加でも参加できます
参加費
無料

13:00
開会

13:10
基調スピーチ

講師 NPO法人地域交流センター理事（九州所長）
株式会社まちづくり計画研究所代表取締役

いまいずみ しげとし

今泉 重敏 氏

演題

『道や川を活かした 元気あふれる地域づくり』

14:20~15:20

座談会
(事例発表を通じて)

コーディネーター NPO法人アイディング常務理事 甲山知苗 氏
アドバイザー NPO法人地域交流センター理事 今泉重敏 氏

◎「みんなにやさしい堀野みち」



- ・二戸市堀野地区町内会
- ・二戸地方振興局土木部

◎「後川における住民協働の取り組み」



- ・後川に清流をとりもどす会
- ・県南広域振興局花巻総合支局土木部

15:30~16:30 「さあ今からできること」・・・会場の皆さんとのディスカッション

全体ディスカッション

コーディネーター NPO法人アイディング常務理事 甲山知苗 氏
アドバイザー NPO法人地域交流センター理事 今泉重敏 氏
岩手県県土整備部長 西畑雅司 ◎

県土整備パネル展も同時開催

11/5(月)~12/7(金) 岩手県庁 1F 県民室
12/16(日)~12/25(火) 午前 アイーナ



12/16

日曜日 13:00 ~ 16:30

aiina

アイーナ

岩手県民情報交流センター 4F
(盛岡市盛岡駅西1丁目7番1号: マリオス隣り Tel:019-606-1717)

県民
プラザ

主催: 岩手県県土整備部 (Tel:019-629-5846)

共催: 県民活動交流センター

道・川・まちをきっかけにした
元気な地域づくりフォーラム

日時：平成19年12月16日（日）

会場：アイーナ 4F県民プラザ

- ◆ 13:00 開会
岩手県県土整備部長挨拶 西畑雅司

◆ 13:10 基調スピーチ

講師 NPO法人地域交流センター理事（九州所長）
株式会社まちづくり計画研究所代表取締役

いまいずみ しげとし

演題 今泉重敏 氏

『道や川を活かした 元気あふれる地域づくり』

◆ 14:20～15:20 座談会（事例発表を通じて）

コーディネーター NPO法人アイディング常務理事 甲山知苗 氏

アドバイザー NPO法人地域交流センター理事 今泉重敏 氏

◎「みんなにやさしい堀野みち」



- ・二戸市堀野地区町内会
- ・二戸地方振興局土木部

◎「後川における住民協働の取り組み」



- ・後川に清流をとりもどす会
- ・県南広域振興局花巻総合支局土木部

◆ 15:30～16:30 全体ディスカッション

「さあ今からできること」… 会場の皆さんとの
ディスカッション

コーディネーター NPO法人アイディング常務理事 甲山知苗 氏

アドバイザー NPO法人地域交流センター理事 今泉重敏 氏

岩手県県土整備部長 西畑雅司

◆ 16:30 閉会

講師プロフィール

今泉 重敏

（いまいずみ しげとし）



●役職・事務局・会員等

NPO 地域交流センター理事（九州所長）

株式会社まちづくり計画研究所代表取締役

福岡県生まれ。81年4月から久山町役場に勤務。企画、都市計画、土地利用、まちづくり、商工・観光、統計等を担当し、88年12月退庁。民間調査研究機関を経て、92年まちづくり計画研究所を設立。九州におけるまちづくりの“のぼせもん”のネットワークの代表世話人。

住民のまちづくり意識を高めながら、地域の特性を踏まえた、すぐにでも実践可能な、楽しく実効性のある各種まちづくり計画を策定するのが得意。「百戸全農家笑顔の似顔絵を持つ“松尾百笑村づくり”」「ユニークなかかしを使った“たんぼの美術館構想”」「笑顔あふれる“笑店街づくり”」「地域の見守り力を高める通学路づくり」「石としめ縄を使った不法投棄防止のおまじない」「よそ者による犬のフン取隊活動」「九州におけるまちの駅づくり」「一戸一美運動の展開」など多数のユニークな活動に取り組む。

参加申込書（Fax 019-629-9130）

ふりがな 氏 名	勤務先／所属団体等
メールアドレス	住所
講師・報告者への質問等	

上記内容を記入のうえ、メールでのお申込も可能です FA0040@pref.iwate.jp
ご記入いただきました個人情報については、本シンポジウムのみで活用します。